

～住学協同への実験～

# 筑豊ゼミ研究会報 4月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第9号 2014年4月10日

## 第27期筑豊ゼミ開講式

2014年4月16日(水) 於:近畿大学産業理工学部ログハウス

- 19:00 開式のことば
- 19:05 祝辞・挨拶 近畿大学産業理工学部 学部長 荒川 剛 様
- 19:10 「第27期 筑豊ゼミが目指すもの」 運営委員長 菊川 清
- 19:15 祝辞
- 19:20 筑豊ゼミ・研究会 紹介
- |                 |    |       |
|-----------------|----|-------|
| 市民遺産研究会         | 会長 | 白神 精一 |
| 独楽研究会           | 会長 | 笹原 泰史 |
| ひきこもり研究会        | 会長 | 野田 隆喜 |
| ピオトップ研究会        | 会長 | 近藤 友里 |
| 情報発信/データデザイン研究会 | 会長 | 神足 佳大 |
- 19:50 閉式のことば
- 20:00 第一回例会
- 各研究会に分かれて、今年度の研究活動方針等を話し合う。  
なお、研究会所属未定の方は、5月の例会(5月21日)迄に決定して構いませんので、先ず、第一希望の研究会に参加してみてください。

## 炭鉱資源を活用した観光誘客戦略

～広域での観光誘客戦略として炭鉱関連の資源を売り出そう～

福岡県主宰の標記タイトルの講演会及びワークショップに多くの筑豊ゼミ生が参加しました。

炭鉱資源については、「筑豊近代遺産研究会」(長弘雄次会長)による調査・研究、情報発信の他、筑豊ゼミでも長弘先生指導の現地調査など、多くの蓄積があります。

そこで、第27期筑豊ゼミ市民遺産研究会では、「炭坑遺産研究班」を作り、「住民目線で考える炭坑遺産を活用した誘客戦略」について、研究を進める予定です。

また、筑豊ゼミ、筑豊地域づくりセンターを横断的に結ぶ「勉強会」を企画しています。5月にはスタートしたいと考えていますので、皆様のご参加をお願い致します。

# 第27期筑豊ゼミ・研究会活動方針

## 市民遺産研究会

研究会長 白神 精一

### 好きです 筑豊

筑豊に居住している我々や仕事をはじめ学生生活で筑豊にいる皆さんが筑豊の地図を見たときに、耳にするわが郷土の持つ温もりや先人の残してくれた遺構等のありがたさや将来の子ども達に残してあげたいものがあるはずです。

私たち市民遺産研究会はこれまで嘉飯桂、田川、直鞍の筑豊一円の自然・文化・産業遺産を中心に市民目線で調査してきました。昨年度は個人がすばらしいと思う遺産を市民遺産として取り上げ筑豊の川、道を「遠賀川」「長崎街道」にスポットを当て2班に分かれて年間を通じて四季の変化や時代への想いを馳せて研究解明しています。

今年度は引き続きこれらのことを研究していきます。更に筑豊をはじめとする福岡県の炭鉱資源を活用した観光誘客戦略のワークショップや日本風景街道を北九州地区に続き筑豊にもモデルコース候補の名乗りが上げられているところから次の内容で研究活動を行います。

#### 研究内容

- 1) 遠賀川の風景や自然が造る 遠賀川研究班
- 2) 地域の伝承を伝える資源や物語を含めた 長崎街道研究班(黒崎・山家・原田)
- 3) 筑豊に残る炭鉱遺産を活用した誘客を研究 炭坑遺産研究班

以上

## 独楽研究会

研究会長 笹原 泰史

筑豊ゼミ「独楽研究会」を昨年に引き続き研究会を継続致します。

研究内容については「日本の独楽資料館」にて一捻りで12分以上回る独楽(最長時間は18分)を作っていますが、26期は独楽の回転数と回転時間の関係を研究致しました。27期も引き続き、近畿大学の先生のアドバイスを頂きながら、いかにして長く回る独楽にするためには、どのような独楽にすれ良いのか科学的に研究し、26期でまだわからない独楽がふらついて起き上がる現象についてなぜ起こるのかもっと研究して解明していきます、また学会発表等の対外発表を通じて大名独楽だけでなく筑豊は「独楽の街」としても全国に発信できる様に挑戦します。また各地区でのイベントに参加して独楽回しの指導を通じて独楽の普及を行って行きたいと思っています。

#### 研究内容

- 1) 独楽の構造、材質、形状等の研究
- 2) 独楽の製作
- 3) 独楽のふらついて起き上がる現象についての研究
- 4) 「日本の独楽資料館」及び各地区でのイベントに参加して独楽回しの指導
- 5) その他

以上

### ～ 筑豊より全国に発信をめざして ～

ひきこもりは日本独自の現象と思われていましたが実は世界中で確認されています。問い合わせ先 野田自身が韓国・イタリア・フランス・ドイツ・イギリスのテレビ・新聞で紹介された後、同様の若者がいるとの連絡が各国報道機関や野田に連絡がありました。特に韓国のひきこもりと言われる若者に対面した感想は「日本と同じ」でした。でもまだはっきりわからないのが実状です。

日本の現状をみるとひきこもりの平均年齢は32才を超え、その父母は70才になろうとしています。これまで10代後半からが主でしたが、新たに20代前半よりのひきこもりも急増しています。

全国の推計は少なくとも40万人です。中には100万人とも推計する民間団体もあります。

この筑豊においても全国調査のデータから推計すると約3000人、その予備軍ともいわれる約10000人です。また、全国平均の倍を超える不登校数や宮若市でのアンケート調査から推計するとより大きな数字になります。

ひきこもりは「無縁」「孤独死(自死)」「餓死」の要因になりやすく、最近6年あまり関わってきた若者に先立たれました。それでも改善するには「第三者の介入」しかありません。

「社会的ひきこもり」として発表した精神科医斎藤環氏(筑波大学大学院教授)と10年来啓蒙活動などを共にしています。

野田と1年間かけて以下の事を研究・実践できればと願っています。一人でも多くの方の参加をお待ちします 途中からの参加も大歓迎です。

#### 研究内容

- 1) ひきこもりの正しい理解・今の若者理解をめざす
- 2) ひきこもり経験者等との交流
- 3) 参加者で何ができるか議論のうえ実践(アンケート調査等)
- 4) 精神科医 斎藤環氏をまねいての勉強会

以上

## ピオトープ研究会

研究会長 近藤 友里

環境教育に欠かせないものの一つが、ピオトープです。昨年は、研究会設立、地元ビール工場内にあるピオトープ見学会とピオトープに関する意見交換会が主な活動でした。これから飯塚でも小中一貫校や中高一貫校の設立が相次ぎ教育レベルも向上していくことが期待できることから、学校、大学でもピオトープを取り入れた環境教育に是非力を入れて頂きたいと願っています。

今年は、同じタイプのピオトープでなく特色あるピオトープを何か所か作ることで大学も含めた学校間での交流を活発化させるために、「どのようなピオトープが良いのか」具体的な提案を行っていきたいと思っています。そのためにピオトープの専門家による講演会を開催し、勉強会を行うとともに、ピオトープ施設の見学会を行いたいと考えています。

以上

第27期筑豊ゼミ:情報発信/データデザイン研究会(pdd研)は、下記に示す特徴に加えて、主に以下の点を具体的な活動方針とする。

- 1)筑豊地域づくりセンターと筑豊ゼミのHPが住民に親しまれること、特に、住民からの情報が容易に寄せられるように、デザインの刷新に主体的に協力する。
- 2)センター会員および筑豊ゼミの各研究会との連携を深める。そのために、研究会の日常的な活動はゼミ室等で頻繁に行うが、月に1回のまとめ(サマリー)を、ゼミ定例日の毎月第3水曜日の17時から行い、センター会員や筑豊ゼミ生が自由に参加できるようにする。(可能ならば、事前に連絡)
- 3)スケジュールとしては、9月末を目処に第1次デザインをアップして公開することを目指す。その後、来年3月末までメンテナンスを兼ねて、改善を続ける。

### 記

1. 研究会の概要: 本研究会は、近畿大学産業理工学部の学生が主体となって運営される研究会です。広い意味での情報の収集および発信の手法やそれらの背景にあるデータの整理や表現に関する全般の事柄についての調査・研究に取り組みます。

また、具体的な実践として、NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターや筑豊ゼミの各研究会との連携を図り、学生と地域の方々との協調も模索する予定です。定例的な日程等を調整後、学生以外の参加に関しても歓迎する方針です。(Chikuhou Seminar, Publicity and Data Design Section)

2. 研究会の構成員: 情報学科 戒田研究室(基礎ゼミ, 情報学序論, 情報学プロジェクトの戒田担当も含む)の学生, 学生幹事会幹事学生, その他参加を希望する学生, 研究会開催日時を調整後, 一般の方の参加も歓迎する。

暫定の研究会学生代表:神足 佳大(近畿大学産業理工学部情報学科4年生)※

※正式には、2014年4月中旬以降に同学科3年生に引き継ぐ可能性あり

3. 研究会の定例会: 毎月第3水曜日 17:00-18:30で検討中

学生は、毎週1回程度の卒業研究/情報学プロジェクト/情報学序論(後期のみ)/基礎ゼミ等での活動も検討中。当面は、産業理工学部3号館3階の情報通信(戒田)研究室(3311室)を使用するが、場合によっては4号館に教室を借りて活動するかを検討中

4. アドバイザー:戒田 高康(近畿大学産業理工学部 准教授)

以上

## 第27期筑豊ゼミ 年間スケジュール

### 第27期筑豊ゼミ年間スケジュール(ひきこもり研究会を除く\*)

	日 時	受 付	場 所	運営委員会 於:市民交流プラザ
2014年 開 講 式	4月16日(水) 午後7時～9時	運営委員会 委員で役割分担	ログハウス	4月1日(火) 午後7:00～
5月例会	5月21日(水) 午後7時～9時	市民遺産研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	5月13日(火) 午後7:00～
6月例会	6月18日(水) 午後7時～9時	独楽研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	6月3日(火) 午後7:00～
7月例会	7月16日(水) 午後7時～9時	市民遺産研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	7月1日(火) 午後7:00～
8月例会	8月20日(水) 午後7時～9時	独楽研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	8月5日(火) 午後7:00～
9月例会	9月17日(水) 午後7時～9時	市民遺産研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	9月2日(火) 午後7:00～
10月例会	10月15日(水) 午後7時～9時	独楽研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	10月7日(火) 午後7:00～
11月例会	11月19日(水) 午後7時～9時	市民遺産研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	11月4日(火) 午後7:00～
12月例会	12月17日(水) 午後7時～9時	独楽研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	12月2日(火) 午後7:00～
2015年 1月例会	1月21日(水) 午後7時～9時	市民遺産研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	1月6日(火) 午後7:00～
2月例会	2月18日(水) 午後7時～9時	独楽研究会	4号館 4103教室 4401教室 4402教室	2月3日(火) 午後7:00～
修了式	3月18日(水) 午後7時～9時	受講者全員で 役割分担	ログハウス	3月3日(火) 午後7:00～

\* ) ひきこもり研究会:開講式・修了式以外は、  
原則 日時:毎月第2木曜日、午後7時～9時 場所:飯塚市市民交流プラザ(アイタウン2F)

なお、開催日時・教室が諸般の事情で変更されるときは、できるだけ一月前の例会までにお知らせします。



## 第26期筑豊ゼミ修了式

平成26年3月19日(水)午後7時、近畿大学産業理工学部ログハウスにおいて、第26期筑豊ゼミ修了式が行われました。

アルゼンチンでの国際会議出席のため欠席された荒川剛学部長に代わり、日高健学部長補佐からご祝辞を頂いた後、各研究会会長が1年間の研究の成果を発表しました。



日高学部長補佐 白神市民遺産研究会会長 笹原独楽研究会会長 末田昭和レトロ研究会会長



独楽研究会大名独楽の実演 小野副理事長 松崎先生

小野正行筑豊地域づくりセンター副理事長、近畿大学の戒田高康先生、松崎隆哲先生にもご祝辞を頂きました。また、荒川学長からはお祝いのメッセージ寄せて頂いています。



修了証書授与

市民遺産研究会



独楽研究会



昭和レトロ研究会

## 祝辞

近畿大学産業理工学部 学部長 荒川 剛

筑豊ゼミがこの26期から NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターの一員として新たに出発しました。

これまででない学生を中心とした研究会も加わった今回の筑豊ゼミに参加されました皆様、修了おめでとうございます。形は変わりましたが、収穫も多い1年ではなかったかと思います。

学生の参加する研究会は、学生自身がこのような活動に慣れていないことと、開催された研究会への参加回数も少なく、活動内容も不十分なものでした。そのため、これまで続けてこられた研究会のメンバーとの交流も薄かったのではないかと感じています。

今後、ゼミに参加の大学生が、他の研究会にも関心を持ち、積極的に地元の方々との交流に加わり、視野を広げ成長をしていってくれたらと願っております。

近畿大学産業理工学部に「地域連携研究所」を開設し、近畿大学の持っている研究・教育資産を地域との連携に生かし、支援していける体制を構築したいと考えているところです。これを通じて、地域の活性化を目指すとともに筑豊ゼミに参加している学生ばかりでなく、多くの学生の自主的な学びをひとつでも引き出したいと思っています。

原発事故以来、再生可能エネルギーへの転換が大きな問題となっている中、依然として輸入した天然ガスなど大量の化石燃料によって発電が行われており、異常気象の原因でもある地球温暖化に拍車をかけています。

今、筑豊では、この再生可能エネルギーの一つである太陽光発電の一大地域になろうとしています。今後、筑豊ゼミに、エネルギー資源を中心とした変遷する筑豊を記録するテーマを取り上げてもらえる方が参加して頂けないか期待しております。

今後ますます皆様方が健康で実り多き成果を得られますことを祈念しまして挨拶に代えさせて頂きます。

# 情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

：sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

筑豊ゼミホームページ(<http://www.chikuzemi.com/>)のイベントカレンダーもご覧ください。

## 上野焼(あがのやき)春の陶器まつり

41周年

400年以上の歴史を誇る国指定の伝統的工芸品、上野焼。今年で41周年を迎える伝統あるまつりです。割引商品が並びスタンプラリーや企画展も開催。

日時：4月25日(金)・26(土)・27日(日)

場所：福智町上野 ふれあい交流会館・周辺窯元(25～27日：陶芸館から窯元を巡回する無料バス運行 26～27日：平成筑豊鉄道・赤池駅から陶芸館までの無料シャトルバス運行)

電話：0947-28-5864(上野焼協同組合：火曜定休) URL：<http://www.aganoyaki.or.jp/>

## 第21回かち歩き大会～飯塚市・桂川町・嘉麻市浪漫ウォーク～

日時：4月29日(祝) Aコース・Bコース 8:00 スタート 受付7:00～7:45

Cコース・Dコース 9:00 スタート 受付8:00～8:45

Aコース：39km チャレンジウォーク

Bコース：28km 長崎街道ウォーク

Cコース：13km ロマンウォーク

Dコース：7.5km スィーツウォーク

会場：イイツカコスモスコモン **スタート・ゴール**

参加費：高校生以上 事前1000円、当日1500円

小・中学生 事前・当日共に 500円

Dコース 上記参加費にプラス500円(先着200名)

未就学児 無料、但し大人の同伴が必要です。

申し込み方法：ハガキ・FAX またはメールにて、氏名、年齢、参加人数、参加コース・電話番号を明記の上、お申し込みください。

電話：090-3733-0077 URL：<http://www.geocities.jp/kachiyume/index-1.htm>

同時開催：B級グルメ in 嘉麻の里 4月29日(祝) 11:00～17:00

場所：コスモスコモン芝生広場 主催：嘉麻の里 夢・未来を考える会

発行：NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第27期筑豊ゼミ

責任者：第27期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清(きくかわ きよし)

編集者：第27期筑豊ゼミ運営委員会事務局 主税 洋三(ちから ひろみ)

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第27期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985(菊川) 090-8624-2886(主税)

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)：sec@chikuzemi.com(事務局長)